A 試合会場レポート

試合番号 **124**　　開催日 **2021/12/18**

令和3年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子　　会場： 高崎アリーナ

観客数： 1,896	開始時間： 17:50	終了時間： 19:47	試合時間： 01:57	主審： 浅井 唯由	副審： 高橋 宏明

ウルフドッグス名古屋

監　督：マクガウン クリス
コーチ：深津 貴之

通　算： － 勝 － 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ： －

東レアローズ

監　督：篠田 歩
コーチ：阿部 裕太

通　算： － 勝 － 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ： －

ポイント			ポイント
3	25	第1セット【 00:30 】	23	1
	25	第2セット【 00:27 】	17	
	15	第3セット【 00:22 】	25	
	25	第4セット【 00:29 】	23	
		第5セット【 】		

【】内はセット時間
（）内は交代選手

＜監督コメント＞

この一週間準備してきたことが発揮出来た試合でした。
相手チームに対して最大限の敬意を表します。
我々のチームメンバーはしっかりと計画を実行したと共に試合中ずっとエネルギーを保つことが出来たと思います。
我々のファンの皆さまは長い距離をかけて会場に足を運んで頂き、我々を鼓舞してくれました。遠い場所ではありましたが、ホームゲームのように闘えました。今大会を通じて、ここに立つためには非常に厳しい道のりでした。今、ここに至っては、明日の大きな一戦に向けて、集中していきたいと思います。Unite as one！

25	山崎 ( )	クレク ( )	第1セット	藤井 ( )	李 ( )	23
	傳田 (勝岡)	近 (前田)		富田 ( )	小澤 ( )	
	永露 ( )	高梨 ( )		高橋 (鈴木)	パダル ( )	

リベロ： 小川　　リベロ： 山口

25	クレク ( )	近 (前田)	第2セット	富田 ( )	藤井 ( )	17
	山崎 ( )	高梨 ( )		高橋 ( )	李 (西本)	
	傳田 (勝岡)	永露 ( )		パダル ( )	小澤 (星野)	

リベロ： 小川　　リベロ： 山口

15	山崎 ( )	クレク ( )	第3セット	高橋 (鈴木)	富田 ( )	25
	傳田 (勝岡)	近 (前田)		パダル ( )	藤井 ( )	
	永露 ( )	高梨 ( )		星野 (峯村)	李 ( )	

リベロ： 小川　　リベロ： 山口

25	傳田 (勝岡)	山崎 ( )	第4セット	高橋 (峯村)	富田 ( )	23
	永露 ( )	クレク ( )		パダル ( )	藤井 ( )	
	高梨 ( )	近 (前田)		星野 (酒井)	李 (鈴木)	

リベロ： 小川　　リベロ： 山口

	( )	( )	第5セット	( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ：　　リベロ：

＜監督コメント＞

今日の名古屋との試合は、相手のサーブレシーブに崩されてしまい我々の武器であるミドルの攻撃を生かすことが出来ませんでした。
しかし、途中から入った星野を起用したことにより徐々に本来の力を取り戻せましたが、名古屋に押し切られてしまいました。
今回の経験をＶリーグに生かしていきたいと思います。
本日はたくさんの応援ありがとうございました。

＜要約レポート＞

決勝進出をかけての一戦となる、東レアローズとウルフドッグス名古屋の試合。
第1セット、序盤東レはパダルを中心に得点を重ねリードするが、名古屋は的を絞らせない攻撃で逆転し、クレクのスパイクや近のブロックでセットを奪う。
第２セット、名古屋はクレク、高梨、山崎が得点を重ね優位にゲームを進める。東レはサーブミスが目立ち流れを作れず、名古屋がセットを連取した。
第3セット、第２セットとは逆の展開。東レはパダルのスパイクやブロックを中心に得点を重ね、終始リードする。名古屋はスパイクミスが目立ち流れを引き寄せられず、東レがこのセットを取った。
第４セット、名古屋は高梨、クレクが要所でスパイクを決め優位にゲームを進める。東レに反撃する隙を与えず、最後は近のブロックでゲームセット。名古屋が決勝進出を決めた。

作成者： 山田 隆之

※本票の著作権は、公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。